

新たな広域道路交通計画策定について

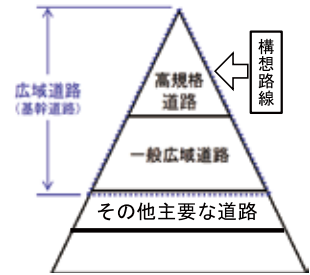
1 計画策定の背景

国では、地域の将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン」を策定し、さらにこのビジョンを踏まえ、概ね20～30年間の中長期的な視点で、今後の計画的な道路整備・管理や道路交通マネジメントの基本となる「新広域道路交通計画」を令和3年7月に策定しました。長野県においては、これに先立ち地域の実情を踏まえ、平成5年に策定(平成10年改定)した「広域道路整備基本計画」を見直し、「長野県新総合交通ビジョン」や「信州みちビジョン」等に基づき、新たな「長野県広域道路交通計画」を令和3年3月に策定しました。

2 長野県計画の概要(道路の区分)

(ア) 高規格道路

- ・高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはこれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成する道路で、求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路
中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道、中部横断自動車道、中部縦貫自動車道、三遠南信自動車道、松本糸魚川連絡道路、上信自動車道、伊那木曾連絡道路



広域道路ネットワークの階層

(イ) 一般広域道路(直轄国道や主要な交通拠点へのアクセス等)

- ・広域道路のうち、高規格道路以外の道路で、求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路
国道18号、国道19号、国道20号、国道153号、国道117号、国道254号、長野環状道路、座光寺上郷道路他

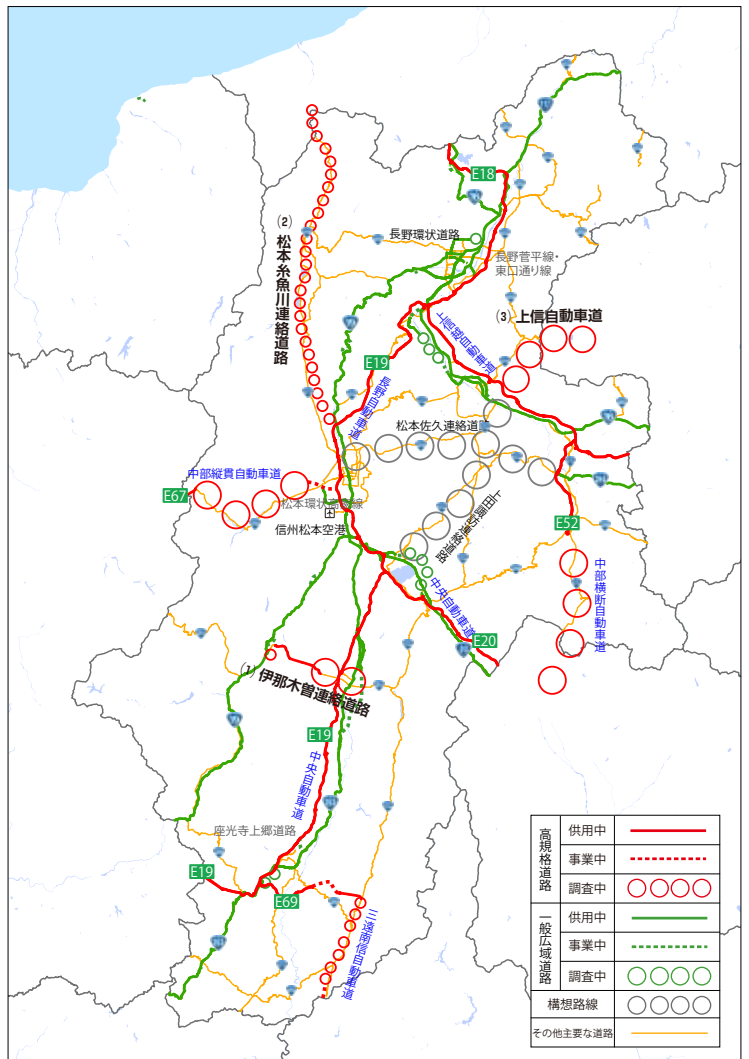
(ウ) 構想路線

- ・高規格道路としての役割が期待されるものの、現段階で起終点が決まっていないが、今後必要な検討を進めていく道路
松本佐久連絡道路、上田諏訪連絡道路

その他主要な道路

- ・上記(ア)(イ)(ウ)以外の道路で、前計画の広域道路(交流促進型・地域形成型)、主要な交通拠点及び高速道路ICに直結する主な道路

長野県広域道路ネットワーク図(令和3年3月現在)



3 高規格道路の主な整備状況

(1) 伊那木曾連絡道路

伊那木曾連絡道路は、木曾町から伊那市に至る延長約20kmの高規格道路です。姥神峠道路(延伸)区間については、令和3年度に新規事業化され、整備を進めています。

(2) 松本糸魚川連絡道路

松本糸魚川連絡道路は、松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100km(うち県内約80km)の高規格道路です。安曇野市新設区間である「安曇野道路」の都市計画決定、大町市街地区間の説明会が開催され、昨年12月には早期建設を求める総決起大会が開催されました。

(3) 上信自動車道

上信自動車道は群馬県渋川市から東御市に至る延長約80km(うち県内15km)の高規格道路です。県境部の概略ルート検討等を進めています。